

# 平成16年度 第3回市民活動サポートセンター運営委員会 会議録

平成16年10月28日 18:30～20:00  
市民活動サポートセンター

出席委員 13名……柴崎、多田、新井、石塚、伊藤、江口、佐藤、四分一、田中、細川、松澤、水谷、横山  
事務局 4名……YMCAよこすかコミュニティサポート 高村、福士  
市民生活課 小座野、小番

## 1 報告事項

次第に沿って報告を行った。

## 2 審議事項

- (1) 市民公益活動団体について、資料を訂正のうえ提案どおり承認した。
- (2) のたろんフェア2005について、提案どおり承認した。
- (3) サポートセンター運営委員会委員改選の考え方について、事務局の基本的な考えを提示して1月の運営委員会で意見をもらうこととした。

## [意見概要]

### 指定管理者制度への移行について

#### (事務局)

経過については資料1のとおり。11月1日からNPO法人YMCAよこすかコミュニティサポートが指定管理者としてサポートセンターの運営管理を行う。運営委員の皆さんには、今後は指定管理者に対する運営評価といった点で関係して頂くようになる。

#### (柴崎委員長)

NPO法人YMCAよこすかコミュニティサポートから指定管理者としての挨拶を。

#### (事務局)

サポートセンターが指定管理者制度に移行するにあたって、この1年、運営委員の皆さんと利用内容のほかにサポートセンター条例の変更についても検討を行ってきた。指定管理者として、これからはますます市民のためのセンターとして民営のよさを出していきたい。また、これからは運営方針など運営委員会の意向を反映していきたい。

### 利用者の声について

#### (柴崎委員長)

利用者の声はホームページにも掲示するのか。目的外使用についてきちんと回答しているのは良いと思う。

#### (事務局)

ホームページには3ヶ月分をまとめて掲示している。

#### (松澤委員)

コピー機の料金が安いという声があるが、少し低く設定しても良いのではないかな。

#### (事務局)

市場価格にあわせていることや原価計算の関係で料金の変更は考えていない。

### 情報化支援ボランティアネットワーク会議について

**(事務局)**

資料5のとおり開催した。情報ボランティアの登録人数は、10月現在では30名を超えている。当初設定していたパソコン講座の需要はある程度消化してきたようで、講座の受講状況も変化してきている。これまでのパソコン講座の応募状況や利用者の希望をみながら、フリープラン講座を増やす等ニーズにあった講座内容に変更していきたい。

**(柴崎委員長)**

運営委員の方からもパソコン講座の利用についてアピールしてほしい。

**(水谷委員)**

パソコン講座は個人の家等への出張講座を頼めるのか。利用者から希望を聞くことがある。

**(横山委員)**

サポートセンターのパソコン講座ということではなく、情報ボランティア団体の活動として対応できると思う。

**(柴崎委員長)**

情報ボランティアとして活動しているが、自宅に出張することについてはこれまでニーズがなかった。所属する団体に検討してみたい。

**(事務局)**

サポートセンターにも週1～2回で教えてほしいという問い合わせがあるが、センターの情報ボランティアをはじめ、パソコンの支援を行っている団体を紹介している。

## 夏の市民活動体験スタンプラリーについて

**(事務局)**

資料6のとおり開催した。「HONCHOすかつ子カーニバル」への参加を新しい企画として盛り込んだ結果、普段市民活動にふれていない一般の人たちの参加を誘うことができ、サポートセンターの紹介も広く行えた。同時に本町地区商店街とのつながりができ、「のたろんフェア2005」の準備を進めるうえでも大きな力となっている。

## 市民協働推進セミナーについて

**(事務局)**

資料7のとおり開催した。市民向けセミナーは、具体的な広報手段等について講義を受けながら、実際に参加者が広報企画を作成、発表した。コメンテーターとして招いた地元メディアや参加者同士のつながりを作ることができ、協働の種をまけたと思う。職員向けは、市民協働を進めるための視点や広報企画作成のポイントについて講義を受けた。

**(柴崎委員長)**

参加者から、今まで知らなかった広報の手段を情報としてもらえたと非常に好評の声を聞いた。運営委員の中で参加した方の感想を聞きたい。

**(多田委員長職務代理)**

講師の方たちが素晴らしかった。今まで知らなかった広報の手段を具体的に教えてもらえた。ものの見方、PRの具体的な仕方がよくわかった。是非、またこういった内容を企画してほしい。

## 市民公益活動団体について

**(事務局)**

資料8に訂正がある。NO.533の「H. S. C」は公益団体と認定している。

## のたろんフェア2005について

### (事務局)

企画案については資料9のとおり。実行委員についてはその後2名の応募があり、現在13名で準備を進めている。概要①「めぐって、めぐって！市民活動パネル点&スタンプラリー」の募集团体数は54団体に変更している。新企画となる概要⑥「実感！Not Aloneのたろん団体交流会」は参加人数を増やす方向で場所等についても調整中である。後日、詳細についてお知らせする。

### (柴崎委員長)

「のたろんフェア2005」実行委員会委員長として四分一委員から挨拶を。

### (四分一委員)

実行委員にはいろいろな年齢層の方が参加している。今までの良いものと新しいものを加えて準備をしていきたい。

### (多田委員長職務代理)

不用品の集め方はどうするのか？不用品を寄付する団体の指定はできるのか？

### (事務局)

不用品の寄付を希望する団体の一覧をチラシとして作成するので、これまでと同じように不用品の寄付団体を指定できる。指定がない場合はサポートセンターにもってきてもらう形で考えている。

### (新井委員)

「みんなでオンステージ」は外での開催となっているが、どのあたりで行うのか？観客数によっては、道路にあふれる可能性があることと、雨天の対応はどうなるのか？交流会の先着40名という人数は少ないと思うので、人数を増やすか2日間に分けて行うのはどうか？交流会の参加募集の仕方はどうなっているのか？

### (事務局)

場所はバーミヤンの向かいを予定しているので、スペースは十分確保でき、雨天時も屋根があるので対応可能と考えている。管理組合の敷地内で、使用許可はすでにもらっている。交流会は産業交流プラザの第1研修室に変更予定で、参加人数も増やす予定である。人数や募集の仕方については企画をつめて、後日詳細をお知らせする。参加費の内訳としては軽食を考えている。

### (横山委員)

最初の企画としてはこれでスタートして良いと思う。

### (佐藤委員)

参加団体の交流会ということで良いのか？

### (事務局)

そのとおり。

## サポートセンター運営委員会委員改選の考え方について

### (事務局)

サポートセンター運営委員会委員の改選について、少し早いですが、事務局の基本的な考え方を提示したい。資料10に示してある考え方を基準にしながら準備を進め、1月の運営委員会で具体的に選考基準や日程を示して委員からの意見を伺いたい。

### (柴崎委員長)

委員の人選基準のなかで75歳未満となっているのは特に理由があるのか？

(横山委員)

民生委員など長く勤める場合もあり、一人の人に固定しないため、すそ野を広げるという意味かと思う。

(新井委員)

すそ野を広げるという視点であれば、年齢制限については、サポートセンター運営委員会として柔軟に対応しても良いと思う。

(石塚委員)

女性委員の比率も現状とあわないが。

(事務局)

女性委員が少ない場合の指針であって、サポートセンターは十分比率を満たしており特に意識する必要はないと思う。

## サポートセンター利用案内について

(事務局)

サポートセンター利用案内について、指定管理者YMC Aよこすかコミュニティサポートとして内容を精査し、A5版の冊子タイプに作成した。11月から配布したい。

(柴崎委員長)

表紙にあるサポートセンターマスコット「のたろん」イラストの著作権はどこが所有しているのか？サポートセンター運営委員として使ってもかまわないか？

(事務局)

著作権はサポートセンターにある。のたろんフェアの参加団体が使ったケースもあるので、サポートセンター運営委員としてイラストを使用したいことを連絡してもらえば良い。

(田中委員)

利用案内は施設としての案内が重点となっているが、ソフト面の利用案内があっても良いのでは？具体的なサービス内容やセンターに来た人への案内等の情報もほしい。

(事務局)

現在の利用案内のなかに受付部分でソフト面の情報をのせている。意見としていただいて、ソフト面の情報については、当面は受付での対応としたい。スタッフの声かけで利用者とのつながりもでてくる。

(伊藤委員)

ソフト面の情報は受付に聞いて初めてわかる部分がある。スタッフの対応で情報の充実を図る方向で良いと思う。

## その他

(事務局)

10月にトイレで置き引きが1件発生した。品物については、付近のゴミ箱で発見された。利用者には注意を呼びかけたい。

サポートセンターのホームページのトップを11月からリニューアルアップする。何かご意見があれば、スタッフまでお願いしたい。

市民協働推進フォーラムを11月20日に開催する。「市制100周年をきっかけに未来の横須賀のまちを考えよう」をテーマに分科会形式でさまざまな角度からまちづくり参加へのきっかけとする内容なので、ぜひ運営委員の皆さんにもフォーラムの広報と参加をお願いしたい。